組合だより

2015. 1. 15 発行　第 168 号

札幌鉄工関連協同組合
・TEL 661-2648　・FAX 665-1408
http//www6.ocn.ne.jp/~s-tekkou/
E-mail : kanren00@poem.ocn.ne.jp

☆ 新年交礼会を開催 ☆

平成 27 年新年交礼会が、1 月 14 日（水）午後 6 時より札幌ホテルヤマチで開催されました。

会は、山本理事の司会で進められ、今井理事長の挨拶のあと、ご来賓の北海道経済産業局地域経済部・島田次長、北海道経済部・竹内産業振興局長、札幌市経済局・小野産業振興部長からご挨拶をいただきました。

今井理事長からは、多くの皆様、ご来賓皆様とともに新年を迎えることができ、この間の組合員皆様からの組合活動に対する多大な協力のお礼、日頃から意見、要望をいただき、一丸となって前向きに取り組んでいること、組合員については、厳しい状況の中、昨年 1 社の脱落もなく全組合員が揃って新しい年を迎えられたことが何よりも喜ばしいこと。

昨年を振り返ると TPP 協議への参加、アベノミクスの取組み、北海道新幹線への期待感が増しているが、今年の景気動向については為替、原油、その他の国際情勢を含め予測すら難しい状況でのスタートといった印象であること、観光と食だけではなく製造業がけん引して我々中小企業が元気になる政治、施策が望まれるところである。今年の干支〝未〟は未来に向かう良いイメージでがんばっていけるなどの話がありました。

来賓の経済産業局からは、アベノミクス 3 本の矢で雇用と企業収益は改善してきている、観光・食は大きな貢献をし、個人消費の期待感が増している。

北海道からは、道内も緩やかな景気上昇の兆しが出てきている。円安、原料価格高騰の中でものづくり産業の出荷額は過去最高であったこと。政府が掲げる「女性が輝く社会」を目指し〝ものづくりなでしこ〟では当組合員の札幌ボデー工業が事業を受け入れ、女性がまじめで有能であることを立証してくれたことへの謝意、企業間連携を深めて更なる発展を祈念する。

札幌市からは、2015 年は人口のピークとなり生産年齢人口はすでに減少している、札幌市は冬季オリンピック招致を表明した、前回、72 年は街づくりに大きな貢献をした。

その後、北海道中小企業団体中央会からは、今回の補正予算案で、ものづくり関連には 1020 億円が盛り込まれているとの話があり、福迫専務理事の乾杯で祝宴に入り、来賓を含め 77 名の出席者は、名刺交換や情報交換、さらにゲーム大会など和やかに交流し、懇談が行われました。

◇ガス溶接技能講習について◇

～札幌労働基準協会から案内～

労働安全衛生法の規定により、可燃性ガス及び酸素を用いて行う金属の溶接溶断、又は加熱の業務を行わせる場合には、都道府県労働局長に登録した者が行う講習を修了した者でなければならないことと定められています。

このたび、この資格を取得するための講習開催の案内がありましたのでお知らせいたします。

・ 開催期日　2 月 20 日（金）学科
　　2 月 21 日（土）実技

◇自由研削用と石特別教育について◇

労働安全衛生法の規定により、研削と石の取替え又は取替え時の試運転の業務に従事させる労働者に対し、特別教育を実施しなければならないと定められています。

このたび、この資格を取得するための講習開催の案内がありましたのでお知らせいたします。

開催期日 2 月 26 日（木）8：50～16：10

いずれも申込み受付中です。他、講習会場、受講料などの詳細については札幌労働基準協会電話 757 - 0340 または組合（担当・永田）までお問合せください。